

のぞましい家庭教育のしおり

～交通安全 伝えていきたいこと～

みなさんは、交通安全について親御さんから話されたことを覚えていますか。また、お子さんにはどんなことを話していますか。

私が運転免許を取りたての頃、父が助手席に乗っていると教習所の指導員が隣にいるようで緊張したものでした。運転技術について多くを語らなかった父でしたが、「交差点で右折するとき、対向車の陰からバイクが来ることがあるから気を付けて」という言葉は、そのときのシチュエーションとともによく覚えています。今日まで、交差点での事故もなく安全に運転できているのは父のおかげだと思っています。

娘も最近、運転免許を取りました。初めのうちは私と妻のどちらかが助手席に座っての運転で、「運転が好き」という娘に私も度々付き合いました。そのときに、「対向車の陰のバイク」の話を、父からされた話として伝えました。また、私自身のヒヤリ・ハット体験から「歩行者や自転車には十分過ぎるほど気を付けて運転してほしい」ということも伝えました。ブレーキを踏むのが少し遅く、車間が少し狭い娘の運転は少々心配でしたが、今ではだいぶスムーズになり、友達と車で出かけることも増えました。祖父の言葉や父から伝えられたことを少しでも記憶にとどめ、安全運転を心掛けてほしいと思っています。

父は、昨年、運転免許証を返納しました。悩んだ末の、家族、特に娘2人からの願いを聞き届ける形での返納でした。その後しばらくして、日常生活でも判断力の衰えが見られるようになってしまったため、父には英断をしてもらえたと思っています。

この1年間の経験から改めて感じたことがあります。ドライバーには父のように免許の返納を迷うような年齢の人もいれば、娘のようにまだ運転に不慣れな人もいるということです。「止まってくれる」「自分のことを見てくれている」と過信せず、自分の命は自分で守るということの大切さを、娘はもちろん、まだ見ぬ孫にも伝えていきたいと思っています。みなさんも、自分が親御さんから話してもらったことや自分の経験をお子さんに伝えていってはいかがでしょうか。



一人で悩まないで、まず相談を

- ・刈谷市 **子ども相談センター** ～子どもに関する相談の総合的な窓口～
月～土曜：9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

☎：62-6313 電話相談・来室相談

- ・刈谷市 **青少年電話相談** ☎：23-8888 月～金曜 9時～17時

- ・県教育相談 **こころの電話** ☎：052-261-9671 10時～22時